

2023年1月11日

和歌山県知事
岸本 周平 様

日本共産党和歌山県議団
団 長 奥村 規子
幹事長 高田 由一
楠本 文郎
杉山 俊雄

新型コロナウイルス感染症に関する緊急申し入れ(第12次)

新型コロナウイルス感染症の第8波により、医療のひっ迫が深刻です。県の陽性者登録センターに感染者が自主的に登録し健康観察を自ら報告する方式では、感染者の全数把握にほど遠い状況となっており、感染拡大を正確に把握することすらできていません。

このような状況のもとで、高齢者施設のクラスター発生件数、死亡者数は過去最多となり、緊急搬送も急増しています。感染者数・死亡者数の多さ、後遺症の深刻さなどからも引き続き対策を強めることが必要です。

これまでも医療体制の確保、介護施設への支援策、検査の拡充などを要求し続けてきましたが、改めて、高齢者をはじめ県民の命を守るために、以下の対策を緊急に申し入れます。

記

1. 高齢者施設の感染予防とクラスター発生への対応について、支援を強化すること。
 - ・コロナ対応の「かかり増し経費」については、クラスターが何度発生しても頭打ちの経費しか認めてもらえないと聞く。実情に応じた経費の支援をすること。
 - ・クラスター発生時のスタッフ不足に対処した緊急の人材派遣の仕組みをつくること。
 - ・N95マスクやフェイスシールドなど個人用防護具が不足しないよう県として責任をもって対応すること。
 - ・抗原検査キットの配布数を、より積極的な検査ができるまで引き上げること。
 - ・専門職派遣を含む感染対策指導は、ゾーニング設置などを早急に行うためにも、クラスター発生時に速やかに行うこと。
 - ・クラスター発生によるデイサービス事業の停止など、減収に対する補てんを行うこと。
 - ・施設の換気・空気清浄装置へのさらなる支援を行うこと。
2. 高齢者の有症状患者の入院などを積極的に進めること。
 - ・高齢者に特化した療養施設、臨時の医療機関の開設などを積極的に進め、稼働病床の拡大も含めた積極的な受け入れ態勢の強化を進めること。
 - ・高齢者施設にとどまることを余儀なくされた場合にも、抗ウイルス薬の適切な処方など早期治療が行えるよう対策を強めること。

以上